

| 今月の不動産経済 (平成30年5月)

● 不動産業の動向

		前月比
不動産業景気動向指数 (DI) <sup>*1</sup>	51.0 p	0.1 p ↑
		前年同月比
不動産業の倒産状況 <sup>*1</sup>	24 件	△ 20.0 % ↓
負債総額 <sup>*1</sup>	7,814 百万円	278.0 % ↑

● 新設住宅着工数

		前年同月比
新設住宅着工・総数 <sup>*2</sup>	79,539 戸	1.3 % ↑
持家	23,321 戸	△ 2.2 % ↓
貸家	31,083 戸	△ 5.7 % ↓
分譲	23,944 戸	12.2 % ↑
内マンション	11,861 戸	20.7 % ↑

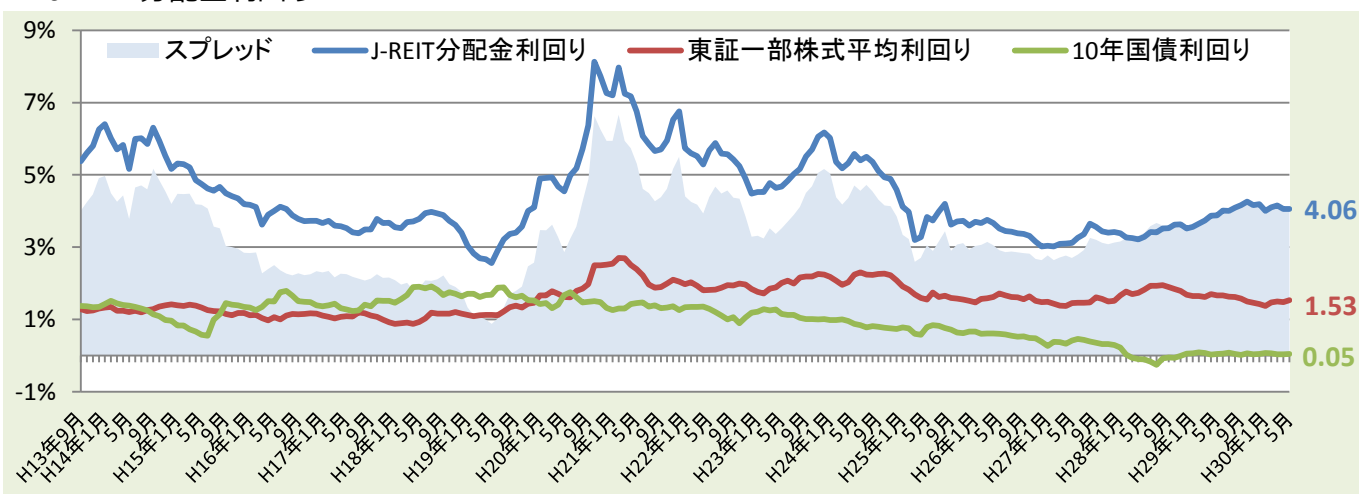
● マンション市場の動向

		前年同月比
新築・供給戸数 (首都圏) <sup>*3</sup>	2,462 戸	△ 5.4 % ↓
[契約率]	[62.2%]	△ 10.0 p ↓
新築・供給戸数 (近畿圏) <sup>*3</sup>	1,480 戸	△ 14.8 % ↓
[契約率]	[69.5%]	△ 10.4 p ↓
中古・成約件数 (首都圏) <sup>*4</sup>	2,797 戸	△ 6.5 % ↓
平均価格	3,305 万円	4.2 % ↑
[㎡単価]	[51.1万円]	3.2 % ↑
中古・成約件数 (近畿圏) <sup>*4</sup>	1,331 戸	△ 5.2 % ↓
平均価格	2,118 万円	2.9 % ↑
[㎡単価]	[31.4万円]	4.0 % ↑
居住用賃貸物件成約数 (首都圏) <sup>*5</sup>	16,356 件	1.1 % ↑

● オフィス市場の動向

		前年同期比 (賃料) / 前月比 (空室率)
オフィス賃料 (都心5区) <sup>*6</sup>	20,019 円	6.5 % ↑
オフィス空室率 (都心5区) <sup>*6</sup>	2.68 %	0.03 p ↑

● J-REIT分配金利回り<sup>\*7</sup>



不動産業の業況感は前月比 0.1P改善し 51.0pとなった。景気判断の分かれ目の50を7ヶ月連続で上回った。

新設住宅着工数は、2ヶ月連続で前年同月比増。

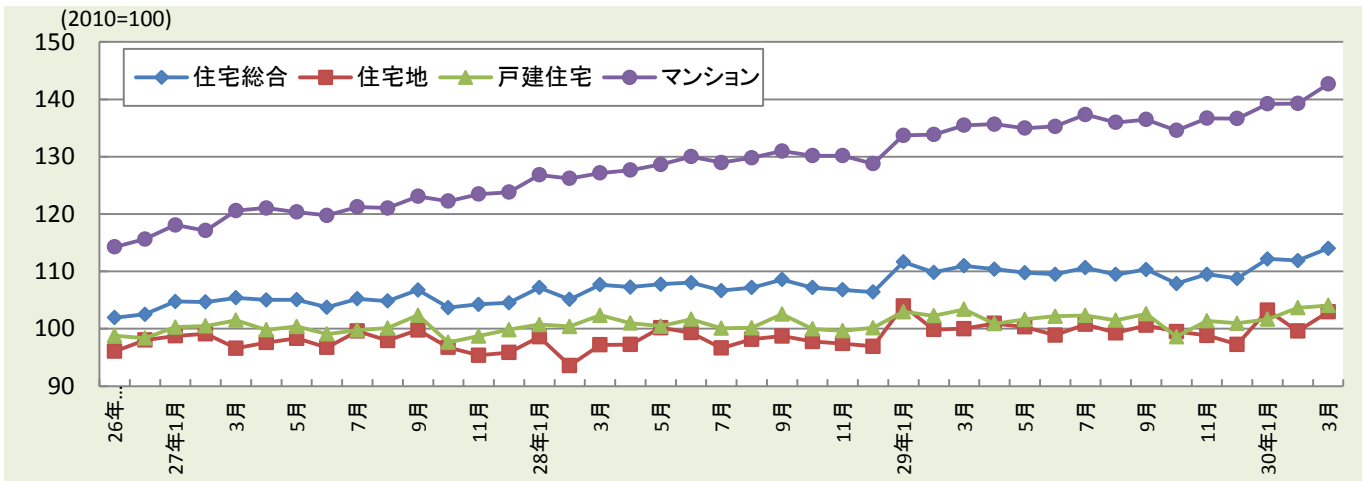
首都圏の新築マンション供給戸数は、前年同月比 5.4%減。2ヶ月連続で前年同月比減。契約率は、同 10.0pダウンの 62.2%。

近畿圏の新築マンション供給戸数は、同 14.8%減。4ヶ月ぶりに前年同月比減。契約率は、同 10.4pダウンの 69.5%。

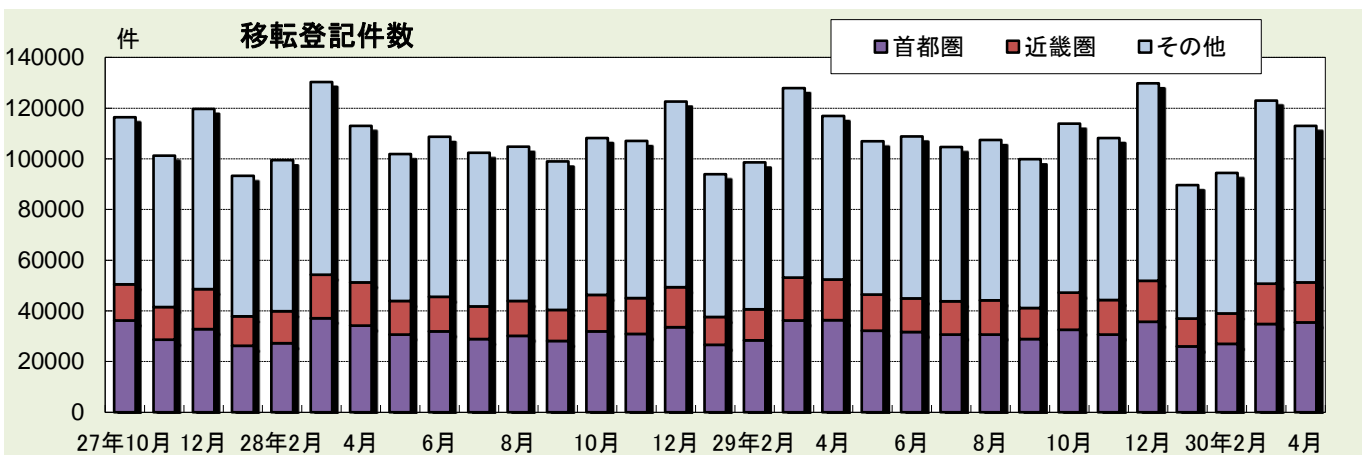
首都圏の中古マンション成約件数は 3ヶ月ぶりに前年同月比減。近畿圏は 3ヶ月連続で前年同月比減。

都心5区のオフィス空室率は、5ヶ月ぶりに前月比上昇。

● 不動産価格指数<sup>\*2</sup>



● 売買による土地所有権移転状況<sup>\*8</sup>



\*1 帝国データバンク (DIは0~100、50が判断の分かれ目)

\*2 国土交通省

\*3 不動産経済研究所

\*4 不動産流通機構

\*5 アットホーム

\*6 三鬼商事

\*7 不動産証券化協会、東京証券取引所、財務省 (スプレッド = J-RIET分配金利回り - 10年国債利回り)

\*8 法務省

[今月の不動産経済](#)

[時系列データ \(excel\) ダウンロード](#)